

## ＜ 改善報告書検討結果（聖心女子大学） ＞

### [1] 概評

2016（平成 28）年度の本協会による大学評価において、貴大学に対して、努力課題として6項目の改善報告を求めた。これを受けて、貴大学では、「全学評価委員会」を中心に検討を行い、学部・研究科において改善活動に取り組んでおり、改善の認められる項目が確認できる。ただし、以下に示す改善が不十分な事項については、更なる対応を求める。

第一に、1年間に履修登録できる単位数の上限設定（努力課題No.1）については、文学部（現、現代教養学部）において上限を厳格化するよう一部規程の改正を行ったものの、卒業論文8単位を含めていないため、改善が望まれる。

第二に、編入学の学生の受け入れ（努力課題No.5）については、編入学定員に対する編入学生数比率が、日本語日本文学科では0.50と低く、哲学科では編入学者がいないため改善が望まれる。なお、大学評価時に提言の対象ではなかった英語コミュニケーション学科、史学科及び国際交流学科において、編入学定員に対する編入学生数比率が低くなっているため、あわせて改善に取り組むことが望まれる。

第三に、大学院の学生の受け入れ（努力課題No.6）については、文学研究科修士課程の収容定員に対する在籍学生数比率が0.43と低いので、引き続き改善が望まれる。

以上の事項について、引き続き改善に取り組むとともに、貴大学が掲げる理念・目的の実現のために、不断の改善・向上に取り組むことを期待したい。

### [2] 今後の改善経過について再度報告を求める事項

なし

### [3] 各指摘事項に対する改善状況

#### 1 努力課題について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	4. 教育内容・方法・成果 (3) 教育方法
	指摘事項	文学部において、1年間に履修登録できる単位数の上限を定めているものの、厳格に適用されていないので、単位制度の趣旨に照らして、改善が望まれる。
	評価当時の状況	1年間に履修登録できる単位数の上限については、1年次42単位、2・3年次48単位、4年次42単位と定めている。 一方、進級時の条件として、1年次から2年次への最低修得単位数を20単位と定めているが、2年次以降は、各年次前期・後期の在学期間を

	<p>満たせば単位の修得状況にかかわらず進級しているため、2年次、3年次において、在学期間を満たすが修得単位数が少ない学生も4年次に進級する制度となっている。</p> <p>このため、卒業年次生について、卒業要件を満たすために1年間に履修登録できる単位数の上限を大幅に超えて登録している事例が見受けられた。</p> <p>また、教職課程履修等のための単位数の上限超過が慣例的に認められていた。</p>
<p>評価後の改善状況</p>	<p>2017年3月30日開催の教務委員会において、2017年度検討課題として「登録単位数上限の運用について」が挙げられ、続く教務委員会において、継続して検討が進められた。(5月12日、6月2日、10月6日、11月3日、12月1日、1月12日開催)</p> <p>(1-1-1、1-1-2、1-1-3、1-1-4、1-1-5、1-1-6、1-1-7)。これを受けて、2018年2月5日開催の教授会において、登録単位数の上限規定の厳格化に関する「聖心女子大学文学部履修規程」の一部改正を行った。また、『履修要覧2019』に明記し、2019年度入学者から適用することが了承された。</p> <p>主な内容は次の通り。(1-1-8、1-1-9)</p> <p>①2019年度入学者から現行の2年次への進級要件に加え、4年次への進級要件を新設する。</p> <p>②4年次への進級要件は、3年次終了時点で卒業要件単位を除く82単位以上修得済みであることとする。ただし、3年次終了時に72単位以上修得しており、かつ、3年次のGPAが2.5以上の者は4年次への進級を認める。</p> <p>③登録単位の上限については、教職課程履修者は最大12単位の年間登録単位超過を許可する。また、②のただし書きの者については、4年次に42単位を超えて履修できる。</p> <p>今後、2019年度入学者からの新制度の運用状況を検証する。</p>
<p>改善状況を示す具体的な根拠・データ等</p>	<p>1-1-1 2017年度第1回教務委員会議事録(2017年3月30日開催)</p> <p>1-1-2 2017年度第2回教務委員会議事録(2017年5月12日開催)</p> <p>1-1-3 2017年度第3回教務委員会議事録(2017年6月2日開催)</p> <p>1-1-4 2017年度第5回教務委員会議事録(2017年10月6日開催)</p> <p>1-1-5 2017年度第6回教務委員会議事録(2017年11月3日開催)</p> <p>1-1-6 2017年度第7回教務委員会議事録(2017年12月1日開催)</p> <p>1-1-7 2017年度第8回教務委員会議事録(2018年1月12日開催)</p>

1-1-8	2017年度第12回教授会議事録および資料（2018年2月5日開催）
1-1-9	『履修要覧2019』 <a href="https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/pdf_youran.pdf#view=Fit">https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/pdf_youran.pdf#view=Fit</a>

No.	種 別	内 容
2	基準項目	4. 教育内容・方法・成果 (3) 教育方法
	指摘事項	文学部において、入学前の既修得単位等の認定について、認定する単位数を定めた規程が整備されていないので、改善が望まれる。
	評価当時の状況	大学設置基準に規定される入学前の既修得単位の認定に関しては規程上に定められていない。
	評価後の改善状況	2017年3月30日開催の教務委員会において、2017年度検討課題として「入学前の既修得単位等の認定について」が挙げられ、続く5月12日、6月2日開催の教務委員会において、継続して検討が進められた。(1-1-1、1-1-2、1-1-3)。 これを受けて、2017年7月11日開催の教授会において、大学設置基準第三十条(入学前の既修得単位等の認定)に基づき「聖心女子大学学則」の一部改正を行い、包括的に規定した条文を定め、2018年4月から施行した(1-2-1)。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等	
	1-2-1	2017年度第4回教授会議事録および資料（2017年7月11日開催）

No.	種 別	内 容
3	基準項目	4. 教育内容・方法・成果 (3) 教育方法
	指摘事項	文学部及び文学研究科において、シラバスに記載する評価方法、授業時間外の学修に関する記述に精粗がみられるので、改善が望まれる。
	評価当時の状況	「受講生への要望（準備学習等）」について、2014年度から準備学習・学習時間の記入を各担当者に要請しているが、内容に精粗がみられ、すべての教員に浸透しているとはいいがたい。また、「評価方法」も評価割合を記載するものとしなないものが混在する。また、授業時間外の学修について具体的指示がない科目が散見される。さらに、15回または30回の授業計画が通し番号を更新する以外にまったく同一表現のものが学部・大学院とも少なくない。
	評価後の改善状況	2017年3月30日開催の教務委員会において、

	<p>2017年度検討課題として「シラバスの見直しについて」が挙げられ、2018年度に向けて検討を進めることが了承された。(1-1-1)。</p> <p>なお、併せて、すでに2016年度中に、FD協議会において「シラバス2017作成ガイドライン」を改正し、「授業時間外の学習」、「評価方法」、「授業計画」、「記載例」等の項目で内容を拡充し、記述を具体化したことの報告があった。</p> <p>同じく、2017年3月31日開催の大学院将来構想・評価委員会において、大学院シラバスの見直しについては学部の検討に歩調を合わせることを了承された。(1-3-1)</p> <p>2017年度には、10月6日開催のFD協議会で「シラバス2018作成ガイドライン」を検討し、12月12日開催の教授会の報告「シラバス作成ガイドライン2018について」において、前年度からの変更点ならびにガイドラインの要注意項目について、次のとおり説明があった。</p> <p>①ガイドラインの要注意項目として、「授業概要」に当該授業科目がカリキュラムマップのどこに位置づいているかを記載することとした。</p> <p>②「授業時間外の学習（準備学習・復習等）」については、準備学習・復習をまとめて記載する方式と分けて記載する方式を可とした。</p> <p>③「評価方法」は、評価項目を数値化された評価割合で示すこととした(1-3-2、1-3-3)。</p> <p>また、同様に大学院シラバスについて、12月12日開催の大学院委員会の報告「シラバス作成ガイドライン2018について」において、評価方法および授業時間外の学修に関して具体的に記載方法を示し、記載内容に関する責任チェック体制を整備した(1-3-4)。</p> <p>2019年度から、シラバスに関する検討を教務委員会に移し、2020年度からの授業時間の100分化による授業回数の変更(通年28回)を含め、12月10日開催の教授会並びに大学院委員会に「シラバス2020作成ガイドライン」を示した(1-3-5、1-3-6)。</p> <p>今後も、継続的に「シラバス作成ガイドライン」を見直し、適切なシラバスを作成し、授業計画に基づいて教育研究指導を行うことについて、さらに進めていく。</p>
改善状況を示す具体的な根拠・データ等	1-3-1 2017年度第1回大学院将来構想・評価委員会議事録

	(2017年3月31日開催)
1-3-2	2017年度第5回FD協議会議事録(2017年10月6日開催)
1-3-3	2017年度第10回教授会議事録および資料(2017年12月12日開催)
1-3-4	2017年度第8回大学院委員会議事録および資料 (2017年12月12日開催)
1-3-5	2019年度第8回教授会議事録および資料(2019年12月10日開催)
1-3-6	2019年度第8回大学院委員会議事録および資料 (2019年12月10日開催)
1-3-7	授業計画書<シラバス>2020
シラバス検索システムサイト <a href="https://sophie.u-sacred-heart.ac.jp/campusweb/ex/ja/syllabus">https://sophie.u-sacred-heart.ac.jp/campusweb/ex/ja/syllabus</a>	

No.	種 別	内 容
4	基準項目	4. 教育内容・方法・成果 (3) 教育方法
	指摘事項	文学研究科のFD活動において、組織的な研修・研究の機会が設けられていないので、改善が望まれる。
	評価当時の状況	教育内容・方法の改善については、「大学院に関する調査」の実施とその分析が行われているが、それ以外に大学院独自のFD活動(研修会の開催など)は行われていない。
	評価後の改善状況	2016年6月24日開催の大学院専攻代表委員会、続く7月12日開催の大学院委員会において、「聖心女子大学大学院委員会規程に基づく委員会規程」を一部改正し、大学院FDが大学院専攻代表委員会の審議事項であることを明確化した(1-4-1、1-4-2)。 2017年3月31日開催の大学院将来構想・評価委員会において、大学院FD活動における組織的な研修・研究の機会の検討を大学院専攻代表委員会で行うことが決定された(1-3-1)。 2018年1月12日開催の大学院専攻代表委員会の了承を受け、1月16日に「大学院におけるFDの在り方」をテーマに大学院FD研修会を開催した(1-4-3、1-4-3(2))。 2018年度には、大学院学生が論文執筆に向けた計画をより具体化し、その内容について指導教員と確認を行うために作成する研究指導計画書について、テーマ「研究指導計画の在り方」とする大学院FD研修会を2018年6月12日に開催した(1-4-4)。 大学院FDに関する審議事項を大学院将来構

	<p>想・評価委員会に移管することが検討され、2019年5月24日開催の大学院専攻代表委員会、続く6月11日開催の大学院委員会において了承された(1-4-5、1-4-6)。</p> <p>2019年度も、大学院学生が人を対象とした研究活動を行う際の研究倫理に関する指導について、大学院FD研修会を10月8日に開催した(1-4-7)。</p> <p>大学院のFDとしては、隔年に実施する「大学院に関する調査」と、大学院独自のFD研修会(毎年度実施)とを二本の柱として継続していく。</p>
	<p>改善状況を示す具体的な根拠・データ等</p> <p>1-4-1 2016年度第4回大学院専攻代表委員会議事録(2016年6月24日開催)</p> <p>1-4-2 2016年度第4回大学院委員会議事録および資料(2016年7月12日開催)</p> <p>1-4-3 2017年度第9回大学院専攻代表委員会議事録および資料(2018年1月12日開催)</p> <p>1-4-3(2) 2017年度第9回大学院委員会議題、議事録(出席者リスト)およびFD研修会資料(2018年1月16日開催)</p> <p>1-4-4 2018年度第4回大学院委員会議事録(2018年7月10日開催)</p> <p>1-4-5 2019年度第3回大学院専攻代表委員会議事録(2019年5月24日開催)</p> <p>1-4-6 2019年度第3回大学院委員会議事録(2019年6月11日開催)</p> <p>1-4-7 大学院FD研修会報告書</p>

No.	種 別	内 容																																																
5	基準項目	5 学生の受け入れ																																																
	指摘事項	編入学定員に対する編入学生数比率は、日本語日本文学科 0.50、歴史社会学科 0.58、哲学科 0.42 と低いので、改善が望まれる。																																																
	評価当時の状況	<p>2015年度編入学に関する状況は次のとおりである。(2015年5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>編入学収容定員</th> <th>編入学生数</th> <th>編入学生数比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英語英文学科</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>0.94</td> </tr> <tr> <td>日本語日本文学科</td> <td>18</td> <td>9</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>歴史社会学科※</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>0.58</td> </tr> <tr> <td>史学科※※</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>人間関係学科※※</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>国際交流学科※※</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>哲学科</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>0.42</td> </tr> <tr> <td>教育学科(教育・心理学専攻)※※※</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>教育学科(教育学専攻)※※※</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>教育学科(初等教育学専攻)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>心理学科※※</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>0.75</td> </tr> </tbody> </table>	学科	編入学収容定員	編入学生数	編入学生数比率	英語英文学科	18	17	0.94	日本語日本文学科	18	9	0.50	歴史社会学科※	12	7	0.58	史学科※※	2	0	0.00	人間関係学科※※	2	2	1.00	国際交流学科※※	2	1	0.50	哲学科	12	5	0.42	教育学科(教育・心理学専攻)※※※	16	8	0.50	教育学科(教育学専攻)※※※	4	2	0.50	教育学科(初等教育学専攻)	—	—	—	心理学科※※	4	3	0.75
学科	編入学収容定員	編入学生数	編入学生数比率																																															
英語英文学科	18	17	0.94																																															
日本語日本文学科	18	9	0.50																																															
歴史社会学科※	12	7	0.58																																															
史学科※※	2	0	0.00																																															
人間関係学科※※	2	2	1.00																																															
国際交流学科※※	2	1	0.50																																															
哲学科	12	5	0.42																																															
教育学科(教育・心理学専攻)※※※	16	8	0.50																																															
教育学科(教育学専攻)※※※	4	2	0.50																																															
教育学科(初等教育学専攻)	—	—	—																																															
心理学科※※	4	3	0.75																																															

		計	90	54	0.60
		※2013年9月募集停止 ※※2014年4月届出 ※※※2014年4月名称変更 ※※※※2014年4月教育・心理学専攻から名称変更し、教育学専攻と心理学科となった。			
評価後の改善状況	<p>2016年度中に編入学試験に関する検討を進め、2017年1月10日開催の入試委員会、2017年1月17日開催の教授会の議を経て、2018入試年度編入学入試（2017年11月4日実施）より、次の4点を改訂した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 英語共通試験（60分）を廃止する。</li> <li>2) 英語の学力を見る必要がある学科は、学科別試験問題に一部英語の問題を組み入れるなどの対応をとる。</li> <li>3) 学科別試験時間を60分から80分に変更する。</li> <li>4) 各学科の学科別試験の内容について、募集要項等に簡単に記載する。（1-5-1、1-5-2、1-5-3）</li> </ol> <p>また、2018年11月27日開催の入試委員会、2018年12月11日開催の教授会の議を経て、2020入試年度編入学試験（2019年11月9日実施）から、出願要件に社会人特別選抜枠を設け、編入学定員に対する編入学生数比率の改善を図った（1-5-4、1-5-5、1-5-6）。</p> <p>また、推薦編入学制度を適用してきた聖心女子専門学校閉校に伴い、2019年度以降、新たに推薦編入学制度による編入学者確保の検討を進めることについて、2018年12月11日開催の教授会で副学長（学務・大学院担当）より報告された。（1-5-5）</p> <p>これらの取り組みにより、入試科目の見直しを行った2018年度編入学生数は、日本語日本文学科0.66、史学科・人間関係学科・国際交流学科（歴史社会学科）では0.66、哲学科0.5と、それぞれ若干の改善が見られた。しかし、2019年度には、日本語日本文学科0.33、哲学科0.25と再び減少傾向がみられた。</p> <p>要因の一つとして、聖心女子専門学校閉校に伴う推薦編入学生数の減少が挙げられるが、その他の改善策を検討するため、2020年度に入ってから、入試委員会にて、継続的に編入学制度のあり方について検討を行っている（1-5-7、1-5-8、1-5-9）。</p> <p>5月26日、6月23日開催の入試委員会においては、2016年～2020年の応募者数、受験者数、合</p>				

	格者数、入学者数をもとに分析し、学科による動向の違いを踏まえて、主に次の課題について検討を進めている。 1) 編入学におけるアドミッション・ポリシーの明確化 2) 3年次編入の可能性 3) 広報の充実
改善状況を示す具体的な根拠・データ等	
1-5-1	2017 入試年度第 7 回入試委員会議事録 (2017 年 1 月 10 日開催)
1-5-2	2016 年度第 11 回教授会議事録および資料 (2017 年 1 月 17 日開催)
1-5-3	「2018 (平成 30) 年度聖心女子大学学生募集要項 編入学試験」
1-5-4	2019 入試年度第 6 回入試委員会議事録 (2018 年 11 月 27 日開催)
1-5-5	2018 年度第 10 回教授会議事録および資料 (2018 年 12 月 11 日開催)
1-5-6	「2020 年度聖心女子大学学生募集要項 編入学試験」
1-5-7	2021 入試年度第 2 回入試委員会議事録 (2020 年 4 月 28 日開催)
1-5-8	2021 入試年度第 3 回入試委員会議事録 (2020 年 5 月 26 日開催)
1-5-9	2021 入試年度第 4 回入試委員会議事録 (2020 年 6 月 23 日開催)

No.	種 別	内 容																															
6	基準項目	5 学生の受け入れ																															
	指摘事項	文学研究科修士課程の収容定員に対する在籍学生数比率が 0.41 と低いので、改善が望まれる。																															
	評価当時の状況	2015 年度文学研究科修士課程の収容定員に対する在籍学生数比率は次のとおりである。(2015 年 5 月 1 日現在)																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>修士課程 専攻</th> <th>収容定員</th> <th>在籍学生数</th> <th>在籍学生 数比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英語英文学専攻</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>0.45</td> </tr> <tr> <td>日本語日文学専攻</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>史学専攻</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>哲学専攻</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>社会文化学専攻</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>0.33</td> </tr> <tr> <td>人間科学専攻</td> <td>24</td> <td>13</td> <td>0.54</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>88</td> <td>36</td> <td>0.41</td> </tr> </tbody> </table>	修士課程 専攻	収容定員	在籍学生数	在籍学生 数比率	英語英文学専攻	20	9	0.45	日本語日文学専攻	10	2	0.20	史学専攻	10	2	0.20	哲学専攻	12	6	0.50	社会文化学専攻	12	4	0.33	人間科学専攻	24	13	0.54	計	88	36
修士課程 専攻	収容定員	在籍学生数	在籍学生 数比率																														
英語英文学専攻	20	9	0.45																														
日本語日文学専攻	10	2	0.20																														
史学専攻	10	2	0.20																														
哲学専攻	12	6	0.50																														
社会文化学専攻	12	4	0.33																														
人間科学専攻	24	13	0.54																														
計	88	36	0.41																														
	評価後の改善状況	大学院長期履修制度について、内容を明確化して活用を図ることにより、大学院学生の確保の一助とするため、2016 年度大学院専攻代表委員会 (6 月 24 日、7 月 22 日、9 月 23 日開催回) において検討し、2016 年 10 月 11 日開催の大学院委員会において「聖心女子大学大学院長期履修学生取扱い規程」を改正した (1-6-1、1-6-2、1-6-3、1-6-4)。また、「大学院早期修了学生制度」については、優れた学生に対して、研究者への道を効率的に進む可能性を開き、また、修士の学位を取																															



得して早くから社会で活躍することを可能とする体制を構築することにより、大学院学生の確保に繋げることを目指して、2017年度大学院専攻代表委員会（5月26日、7月28日、9月29日、1月12日、1月26日、3月7日開催回）において検討し、2018年4月10日開催の大学院委員会の議を経て、修士・博士前期課程に制度を導入した（1-6-5、1-6-6、1-6-7、1-6-8、1-6-9、1-6-10、1-6-11、1-6-12、1-6-13）。

さらに、2018年4月27日開催の大学院専攻代表委員会で大学院入試の出願資格の見直し、入試・入学方式の見直しを行い、2018年5月15日開催の大学院委員会の議を経て、確定した（1-6-14、1-6-15）。この見直しにより、全専攻で社会人特別選抜制度を実施し、長期履修学生制度の導入、外国人特別選抜の導入も一部の専攻で実施した（1-6-16）。

以上のとおり、取組みを継続しているが、入学者の増加に至らず、在籍学生数比率は、下記のようにほぼ横ばいである。

年度	在籍学生数比率
2018	0.42
2019	0.42
2020	0.43

こうした状況を打開するとともに、本学の教育理念の下、新たな社会のニーズに対応する大学院教育を構想するため、学長裁定による「大学院の充実・活性化検討ワーキンググループ」を設置し、2020年5月19日開催の教授会にて学内に報告するとともに、大学院の定員の見直しを視野に議論を開始した（1-6-17）。

2020年5月22日開催の大学院将来構想・評価委員会において、改めてワーキンググループ設置の目的と進め方を確認し、続く6月26日開催の同委員会においては、経過報告を行った（1-6-18、1-6-19）。

今後も、大学院将来構想・評価委員会ならびに大学院委員会に適宜報告し、改善に向けた議論を進める。

改善状況を示す具体的な根拠・データ等

- 1-6-1 2016年度第4回大学院専攻代表委員会議事録（2016年6月24日開催）
- 1-6-2 2016年度第5回大学院専攻代表委員会議事録（2016年7月22日開催）
- 1-6-3 2016年度第6回大学院専攻代表委員会議事録（2016年9月23日開催）
- 1-6-4 2016年度第6回大学院委員会議事録および資料（2016年10月11日開催）
- 1-6-5 2017年度第3回大学院専攻代表委員会議事録（2017年5月26日開催）

- |        |   |
|--------|---|
| 1-6-6  | 2017年度第5回大学院専攻代表委員会議事録(2017年7月28日開催)        |
| 1-6-7  | 2017年度第6回大学院専攻代表委員会議事録(2017年9月29日開催)        |
| 1-6-8  | 2017年度第9回大学院専攻代表委員会議事録(2018年1月12日開催)        |
| 1-6-9  | 2017年度臨時大学院専攻代表委員会議事録(2018年1月26日開催)         |
| 1-6-10 | 2017年度第10回大学院専攻代表委員会議事録(2018年3月7日開催)        |
| 1-6-11 | 2018年度第1回大学院委員会議事録および資料(2018年4月10日開催)       |
| 1-6-12 | 聖心女子大学大学院早期修了学生取扱い規程                        |
| 1-6-13 | 聖心女子大学大学院早期修了学生制度による大学院授業科目の早期履修に関する規程      |
| 1-6-14 | 2018年度第2回大学院専攻代表委員会議事録(2018年4月27日開催)        |
| 1-6-15 | 2018年度第2回大学院委員会議事録(2018年5月15日開催)            |
| 1-6-16 | 「2019(平成31)年度聖心女子大学大学院学生募集要項」               |
| 1-6-17 | 2020年度第2回教授会議事録(2020年5月19日開催)               |
| 1-6-18 | 2020年度第3回大学院将来構想・評価委員会議事録<br>(2020年5月22日開催) |
| 1-6-19 | 2020年度第4回大学院将来構想・評価委員会議事録<br>(2020年6月26日開催) |

以上